

佐原高校のあゆみと創立記念日

北総の名門として各界に優秀な人材を輩出してきた佐原高校の歴史は、1900（明治33）年まで遡ることができます。その年の2月2日に千葉、佐倉に次いで県下第3番目の中学校として、千葉県佐原中学校の設置が公示されました。このとき銚子中学（後に廃校）・大多喜中学・千葉中学木更津分校・佐倉中学成東分校の開設も告示されましたが、佐原中学が筆頭にありましたので、「県立三中」と自負していたようです。

同年4月10日に法界寺を仮校舎として100名の入学を許可し、授業を開始しました。9月1日には今の校地に大半の校舎ができ、新校舎での授業が始まりました。式典の準備や校舎が完成した後の12月2日に開校式典を挙行し、本校ではその日を創立記念日としています。

1948（昭和23）年4月1日、教育制度改革により千葉県立佐原高等学校となりました。この年5月5日開校記念式典が行われ、この日が創立記念日として短期間続きましたが、旧来の記念日への愛着もあってか6年後には、12月2日に戻りました。1948年には定時制も開設されました。

1950（昭和25）年4月1日には、小御門農業高等学校と統合して（6年後に小御門校舎は下総農業高等学校として再び独立）千葉県立佐原第一高等学校と改称し、男女共学を開始しました。1961（昭和36）年4月11日、再び千葉県立佐原高等学校と改称し、1969（昭和44）年、全日制に理数科を設置し、現在に至っています。

本日12月2日に、創立120周年記念式典が佐原文化会館で挙行されます。